

1. Course Description

人体の構造(解剖学)は人体を対象とする仕事を行ううえで最も基本となる学問です。けがをしたり病気になったりしたときに人体がどのような影響を受けるかは、正常な人体の構造(つくり)がどのようなになっているかを理解している必要があります。柔道整復師を目指す者にとって、その土台となる人体の構築・構造の基本的知識を広く確実に身につけることを目標とします。

授業は教科書に準じて、講義形式にておこないます。

人体の構造1~4を通し、人体の構成を一連の働きにより分けた系統別に学び、最終的に個体全体の構造を理解していきます。

人体の構造2では、人体の構造1で学んだ骨格系を土台とし、運動の主体となる筋系とその神経支配について学びます。また、授業時の質問に対してグループディスカッションを行い答えてもらいます。

この授業ではDPIに関する知識を修得します。

2. Course Objectives

- ① 骨格筋の構造を説明できる。
- ② 筋の付属装置について説明できる。
- ③ 骨格筋を支配する神経を説明できる。
- ④ 頭部の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。
- ⑤ 頸部の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。
- ⑥ 胸部の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。
- ⑦ 腹部の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。
- ⑧ 背部の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。
- ⑨ 上肢の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。
- ⑩ 下肢の筋の形状・起始と停止・作用・支配神経を説明できる。

3. Grading Policy

内容の区切りごとに課題・確認問題に準じた小テストをおこないます。全範囲の定期試験(70%)に小テストの結果(30%)を加え最終成績とします。

試験の解答および解説をLMSにアップします。

4. Textbook and Reference

Textbook

岸清、石塚寛編 全国柔道整復学校協会監修教科書『解剖学』 2版 医歯薬出版株式会社

Reference

相磯貞和訳 『ネッター解剖学アトラス』 原著6版 南江堂

伊藤隆・高野廣子 『解剖学講義』 3版 南山堂

松村譲児 『イラスト解剖学』 9版 中外医学社

5. Requirements(Assignments)

毎回の教材は事前・事後にLMSに掲載されます。

予習としてLMSで指定された課題についてまとめてから授業に臨んでください。

教科書の指定の部を読み(授業内容の項目およびLMS)、全体の概要をとらえておき、難読と思われる用語については事前に読めるよう調べて下さい。

復習としてLMSで指定された項目についてまとめ、さらに確認問題を解いてください。

およそ予習に1時間、課題と問題解答の復習に2時間を見込んでいます。

6. Note

解剖学は決して暗記の科目ではありませんが、多くの用語を覚え、理解していかなければならないことは事実です。図を読み、描き、必要な構造と用語を覚え、さらに関連の構造・隣接の部位や構造との関係・働きなどに知識を広げていくように努力して下さい。

7. Schedule

- [1] 筋系総論
準備学修:教科書(p70~76)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [2] 末梢神経系概論
準備学修:教科書(p238~256)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [3] 頭部の筋
準備学修:教科書(p76~78)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [4] 胸部の筋
準備学修:教科書(p81~84)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [5] 頸部の筋、小テスト。
準備学修:教科書(p78~81)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [6] 腹部の筋 1:腹部の筋
準備学修:教科書(p85~88)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [7] 腹部の筋 2:関連構造、骨盤底の筋
準備学修:教科書(p85~88,201)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [8] 背部の筋、小テスト。
準備学修:教科書(p88~92)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [9] 上肢の筋 1:上肢帯の筋、上腕の筋
準備学修:教科書(p92~97)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。

- [10] 上肢の筋 2:前腕の筋
準備学修:教科書(p97~102)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [11] 上肢の筋 3:手の筋
準備学修:教科書(p102~107)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [12] 下肢の筋 1:下肢帯の筋、大腿の筋
準備学修:教科書(p107~114)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [13] 下肢の筋 2:下腿の筋
準備学修:教科書(p114~118)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [14] 下肢の筋 3:足の筋
準備学修:教科書(p118~122)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [15] まとめ
準備学修:全項目のまとめを行い、疑問点を解決するように取り組んでください。